

皆さまの

75歳からの医療制度 ギモンにお答えします

今年（2008年）4月から75歳以上（65～74歳の寝たきりの人なども含む）を対象に新たな長寿医療制度（後期高齢者医療制度）がスタートしました。新制度に対する疑問にお答えします。

Q

●●なぜこの制度を導入するの？

A

- » 複数の病気や治療が長期化する傾向にある年代です。こうした高齢者の医療をしっかり支えるための制度です。
- » すべての世代で負担を分かち合い、増え続ける高齢者の医療費を国民みんなで支えるためです。

Q

●●今まで払ってなかった人（被扶養者）も払うの？

A

- » 75歳以上の方、全員が対象になり、支え合う制度です。公平な負担をお願いしています。
- » 公明党の主張で4月～9月は全額免除。10月から来年3月までは負担の9割が軽減されます。

Q

●●夫婦の一方だけ該当する場合は？

A

- » 経過措置を講じて、負担が増えないようにしています。

Q

●●なぜ天引きなの？

A

- » 保険料の徴収が不公平にならないようにするためです。
- » 高齢者の皆さまに支払い窓口まで行く手間をおかけしないためです。

Q

●●保険料の仕組みは？

A

- » 均等割＋所得割がお一人の払う保険料です。
- » 所得割は年収153万円以下の人にはかかりません。
- » 均等割は世帯の所得に応じて7割・5割・2割が軽減されます。



医療と介護の負担を軽くしました

4月から合算制度がスタート。公明党の強い主張で負担軽減のため、介護と医療の自己負担の合計費用の上限額を定めました。

※申請することで超過分が後日払い戻されます。

例：75歳以上、一般所得の場合

53万円（医療）＋45万円（介護）＝98万円
合算制度の導入で上限56万円に（42万円も減額）